

第17回市民公開講座

「首と腰の悩み」市民講座

骨粗鬆症はなぜ予防や治療が必要なのか？

元藍野大学医療保健学部教授

兵庫医科大学整形外科非常勤講師

神戸労災病院 骨粗鬆症外来 **楊 鴻生**
よう こうせい



背骨の曲がりについて

— 子供から大人まで、検診から治療まで —

神戸大学医学部整形外科 助教

角谷 賢一郎
かくたに けんいちろう



開催日時：平成29年7月30日(日)

午後14時～16時(13時30分開場)※質問タイムあり

開催場所：神戸大学医学部医学部会館シスメックスホール

神戸大学医学部附属病院敷地内(附属病院正面玄関左側の建物です)

※神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車 徒歩約8分

※JR「神戸」駅から神戸市バス 9、110、112系統

●参加料：無料 ●事前申込：なし(先着：200名)

共催：NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構(HOSD)

NPO法人国際頸椎学会日本機構(CSRS-J)

神戸大学医学部整形外科学教室

第17回市民公開講座 「首と腰の悩み」市民講座

HOSD理事長挨拶

毎年恒例となっております市民講座を開催いたします。
まず、元藍野大学教授で毎週水曜日に神戸労災病院で骨粗鬆症外来をご担当いただいております楊先生に「骨粗鬆症はなぜ予防や治療が必要なのか？」についてご講演いただきます。

次に神戸大学整形外科の角谷先生から「背骨の曲がりについて」のご講演をいただきます。

骨粗鬆症にしても背骨の曲がり(側弯症など)にしましても、最近、みなさんの間でも話題に上っている問題だと思えます。骨粗鬆症は圧迫骨折が痛かったり、背が縮んだり、薬がややこしかったりしますし、背骨の曲がりはいつも気になることですよね。この講演会ではみなさんに必要な情報について、現場医師たちの意見をわかりやすくご説明しています。ぜひ参加いただいて、お役に立ててください。

年に1回の講座ですので、この機会をご活用いただき、よい良い幸せな生活をみなさんとともに設計しましょう。

(理事長: 鷲見正敏・神戸労災病院院長)

骨粗鬆症はなぜ予防や治療が必要なのか？

講師: 楊 鴻生(よう こうせい)

元藍野大学医療保健学部 教授
兵庫医科大学整形外科非常勤講師
神戸労災病院骨粗鬆症外来

骨粗鬆症は1300万人以上の人々が罹患している、高齢社会においては避けて通れない大事な疾患です。骨粗鬆症に伴う骨折などの問題がなければ、実際には疼痛や機能障害等は起こらず、必ずしも怖い病気ではありません。骨折しにくい骨をいかに作るかが、骨粗鬆症では大事なポイントとなります。

この講演では、骨折を防ぐ方法、骨折しやすくなった時の予防法や治療法について、薬物療法も含めて、わかりやすく解説する予定です。

地下鉄「大倉山」から徒歩約8分
JR「神戸」駅から神戸市バス 9, 110, 112系統 「大学病院前」下車



背骨の曲がりについて — 子供から大人まで、検診から治療まで —

講師: 角谷 賢一郎(かくたに けんいちろう)
神戸大学医学部整形外科 助教

背骨の曲がりを医学用語では側弯症(そうわんしょう)、後弯症(こうわんしょう)と呼びますが、中でも側弯症は数%の方に見られる比較的頻度の高い疾患と言えます。側弯症は、子供から大人まで全ての年代に見られますが、変形が大きくなると腰痛を起こすばかりではなく、内臓へ悪影響を及ぼす事があります。

講演では、我々が取り組む子供の側弯症に対する学校検診システムの紹介から治療に至るまで幅広く、説明させていただきます。

●参加料: 無料 ●事前申込: 不要(先着200名)

※お問合せ先: TEL: 090-4645-4595 E-mail: hosd110301@hosd.or.jp

日時: 平成29年7月30日(日) 午後14時~16時 (13時30分開場)

場所: 神戸大学医学部医学部会館シスメックスホール 神戸大学医学部付属病院敷地内

※神戸大学医学部付属病院正面玄関左側の建物です。神戸市営地下鉄「大倉山」駅徒歩約8分

共催: NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構(HOSD) NPO法人国際頸椎学会日本機構(CSRS-J) 神戸大学医学部整形外科学教室